

平成30年度 上伊那圏地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第1回 重心・要医療的ケア 部会	参加者数	39人	会場	伊那市 福祉まちづくりセンター 2階 大会議室
	日時	平成30年6月8日(金) 13:30 ~ 15:00				
主テーマ	<p>1 今年度の活動計画について</p> <p>2 情報交換会</p> <p>3 難病を抱え生活をされている当事者からのお話</p>					
主な意見など	<p>1 について(堀川部会長より)</p> <p>○部会は年3~4回開催予定。短期・中期・長期目標に変更はない。以下の5項目を中心に活動していく予定。</p> <p>(1) 医療機関や福祉事業所への重心児者の受入拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで公的医療機関を中心に病院訪問を実施してきた。今のところ短期入所の受入等に進展はないが、今後、入院病棟のある民間病院や福祉事業所へも受入拡大依頼を引き続き行っていく予定である。</li> </ul> <p>(2) 老人保健施設への重心児者の受入拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人保健施設はびろの里では、現在2名の受入が実現している。この好事例を他の老人保健施設へも広げていくきっかけにしたい。はびろの里、伊那養護学校とも連携し、部会として今後も動向を注視していく。</li> </ul> <p>(3) 伊那養護学校つくしグループとの懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年度開催される標記懇談会に、今年度も部会として参加する。重心児の保護者の思いを聴く貴重な機会である。また、各市町村担当者も出席するため、当事者の声を行政に届ける意味でも重要な会である。</li> </ul> <p>(4) 災害時の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特につくしグループとの懇談会の中で、多くの家族から不安や心配の声が上がっている。福祉避難所を開設する市町村の福祉担当者とも連携しながら、当事者の声を届けていきたい。</li> </ul> <p>(5) 難病について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者総合支援法の中には、難病者も対象に含まれることから、難病者の話をお聴きし、日常生活の困り感などについての理解を深めたい。</li> </ul> <p>○その他、講演会や研修会、視察研修、施設見学なども必要に応じて企画していきたい。</p> <p>2 について(参加者全員)</p> <p>(1) 伊那養護学校つくしグループ懇談会について(伊那養護学校つくしグループ教諭より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.7.3(火)10:40~12:00 伊那養護学校にて開催する。ぜひご参加ください。</li> </ul> <p>(2) はびろの里での重心児者受入の現状について(はびろの里より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度利用を開始した方は、当初、食事や水分補給に課題があったが、今はスムーズに行えている。</li> <li>・南信老健協会へ医療型短期入所を老人保健施設でも実施可能である旨、周知できるよう協会事務局へも話を進めているところである。</li> </ul> <p>(3) 送迎に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はびろの里を利用する場合、送迎が難しいときいたが、現状はどうか。(保護者)</li> <li>⇒送迎については、日帰りの医療型短期入所のため、デイケア利用者の送迎と重なり、厳しい状況である。今年度からの利用者は、ご家族が送迎をされている。冬期積雪時は別途考えている。(はびろの里)</li> <li>・他圏域では、通学バスに乗れない子の送迎は自己負担で課題になっている所もある。(上伊那生協病院)</li> </ul> <p>(4) 入浴に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回の入浴しかできない現状がある。学校帰りにどこか入浴ができる施設はないか。(保護者)</li> <li>⇒訪問入浴については、市町村によって回数が決まっている。上限回数にばらつきがあるので、部会としても改善が進むよう、市町村へ働きかけを行っていただきたい。(上伊那生協病院)</li> <li>・今年4月に新たな生活介護事業所がオープンしたが、お風呂は座位がとれる方向けのものだった。座位が保てない子の入浴も可能となるよう、新事業所設計の際には、広く意見を募って検討してほしい。(保護者)</li> <li>⇒大萱の里には寝たままの姿勢で入浴できる設備がある。入所者も入浴するため、なかなか厳しい状況だが現場のやりくりで外部の方の入浴要請にも応えていけるか検討をしたい(大萱の里・堀川部会長)</li> </ul> <p>3 について</p> <p>○難病当事者の方にご参加いただき、主に次のような観点から、経験に基づく貴重なお話をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病名及び病状について</li> <li>・ここ数年の日常生活の様子について</li> <li>・病気や病状の進行を受け入れることの精神的葛藤について</li> <li>・福祉との関わり、当事者と支援者の関わりについて</li> </ul> <p>○質疑応答 (略)</p>					
まとめ	<p>・今年度の部会計画について、皆で確認し、入浴・送迎など気になる課題の情報交換を行うことができた。</p> <p>・難病を抱えながら地域生活を送る当事者の困り感や思いを聴き、難病に対する理解を深める一助となった。</p>					
次回	<p>・第2回重心・要医療的ケア部会は、H30.7.3(火)10:40~12:00 伊那養護学校にて開催します。</p> <p>大勢の皆さんのご参加をお待ちしています。</p>					